

新型インフルエンザへの対応 —医療機関の新たな備え

新型インフルエンザの新たな世界的流行が危惧される折、わが国では2013年に新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行され、新型インフルエンザ等対策政府行動計画や対策のガイドラインなどが示されています。今後新型インフルエンザはどのような形で発生する可能性があるのか、新型インフルエンザが発生し、国内に侵入してきた場合、各医療機関はどのように対応したらよいのか、そのとき臨床検査室は臨床現場に対して何を提供できるのか、まだ記憶に新しい2009年のインフルエンザA(H1N1)pdmによるパンデミックの経験を踏まえ、私たちは新型インフルエンザに対する医療機関の備えについて、今考えておく必要があります。

本特集では、新型インフルエンザに関する最近の動向と臨床上の問題点、アウトブレイクへの対応、行政としての対応と医療機関に求められる行動、施設内感染対策、ワクチンによる予防戦略などについて、専門家の先生方に解説していただきました。皆さまのご施設における新型インフルエンザ対策を考える際の参考にしていただければ幸いです。

(岩田 敏)